

# 2006年度秋の三者総会議案書

2007年度三者事務局校・金沢大学

2006年10月10日

## 目次

<b>1</b>	<b>2006年度三者センター校(九州大学)–決算報告</b>	<b>2</b>
1.1	収入	2
1.2	支出	2
1.3	各三者役職校の支出	2
<b>2</b>	<b>2007年度三者センター校(北海道大学)–予算案</b>	<b>4</b>
2.1	収入予定(概算)	4
2.2	支出予定	4
2.2.1	各三者役職校の支出予定項目	5
2.2.2	各パート役職校の支出予定項目	5
2.2.3	ワーキンググループの支出予定項目	6
2.3	講師旅費(基研からの援助金)の使い方について	6

# 1 2006年度三者センター校(九州大学)–決算報告

文責：小島健太郎(九州大学)

## 1.1 収入

内訳	2006年度	2005年度
前年度繰越金	1,435,238	1,489,544
基研 <sup>b</sup> (講師旅費 <sup>‡</sup> )	361,850	418,900
基研 <sup>b</sup> (ポスター印刷費)	56,700	53,025
素G	450,000	450,000
参加費 <sup>‡</sup>	1,080,000	825,000
総計	3,383,788	3,236,469

<sup>b</sup> 基研からの援助額は講師旅費とポスター印刷費を合わせて(上限)50万円。

<sup>‡</sup> 今年度の講師旅費は、講義を行う講師と、学生トーカーで使用している。

<sup>‡</sup> 2005年度の参加費は3,000円で、2006年度の参加費は4,000円である。

## 1.2 支出

役職校	2006年度申請額	2006年度決算額	2005年度決算額
三者センター校	3,000	4,091	360
三者事務局	4,000	0	0
三者準備校	360,000	187,946	232,251
三者名簿校	0	0	0
三者HP・ML校	0	0	0
素粒子パート事務局	0	0	0
素粒子パート準備校	23,000	1,800	17,413
原子核パートセンター校	0	0	0
原子核パート準備校	0	451	16,262
高エネルギーパート準備校	0	0	3,000
ポスター印刷費	100,000	56,700	53,025
講師旅費 <sup>‡</sup>	400,000	361,850	120,340
遠隔地旅費補助	-	1,294,480	1,358,580
次年度繰越金	-	1,476,470	1,435,238
総計	-	3,383,788	3,236,469

<sup>‡</sup> 今年度の講師旅費支出額は、講義を行う講師と、学生トーカーで使用した金額の合計。昨年度の講師旅費支出額は、講義を行う講師に使用した金額を表しており、それ以外の基研からの旅費補助は遠隔地旅費補助額に計上してある。

## 1.3 各三者役職校の支出

- 三者センター校(九州大学)

申請項目	2006 年度申請額	2006 年度決算額	2005 年度決算額
振込手数料 <sup>‡</sup>	3000	1740	280
郵送費 <sup>‡</sup>	0	1280	80
コピー代 <sup>‡</sup>	-	1071	0
旅費(基研)*	0	0	0
計	3000	4091	360

<sup>‡</sup> 例年参加者の宿泊費及び参加費の入金は準備校の口座に行われていたが、今年度はセンター校の口座に入金する方法をとったため、前年度と今年度で決算額が大きく異なっている。

\* 基研からは旅費が1人分しか出ないので、基研へ2人行く場合、2人目の分を三者から負担する。

- 三者事務局 (神戸大学)

申請項目	2006 年度申請額	2006 年度決算額	2005 年度決算額
コピー代	4,000	0	0
計	4,000	0	0

- 三者準備校 (京都大学)

申請項目	2006 年度申請額	2006 年度決算額	2005 年度決算額
下見・交通費	20,000	0	0
施設使用料金	150,000	134,260	186,400
コピー代	60,000	1,402	5,100
文具代	30,000	11,644	12,811
通信費	30,000	0	135
郵送費	40,000	22,850	26,650
払出し手数料	30,000	11,835	1,155
キャンセル代金 <sup>‡</sup>	-	5,955	-
計	360,000	187,946	232,251

<sup>‡</sup> 事務上の手違いにより宿泊のキャンセル代金の赤字が発生した。この赤字を三者の予算で補填している。

- 素粒子パート準備校 (金沢大学)

申請項目	2006 年度申請額	2006 年度決算額	2005 年度決算額
録音関係費	13,000	0	12,836
通信関係費	-	-	800
機材送料	6,000	1,800	-
消耗品代	2,000	0	0
研究会費	2,000	0	777
懇親会費	-	-	3,000
計	23,000	1,800	17,413

- 原子核パート準備校 (東北大学)

申請項目	2006 年度申請額	2006 年度決算額	2005 年度決算額
原子核研究への原稿郵送料 <sup>‡</sup>	10,200	0	9,860
文房具代	3,000	451	3,402
懇親会費	-	-	3,000
計	13,200	451	16,262

b 例年原子核パートでは、「原子核研究」という雑誌に研究会の発表の会議録を掲載させてもらっており、その配送費用が支出に計上されていた。しかし今年度より雑誌形態の変更があり、その掲載を取りやめた。

● その他

2006年度の申請額、決算額共に0円の役職校については省略致します。

## 2 2007年度三者センター校（北海道大学）—予算案

文責：中山真作（北海道大学）

### 2.1 収入予定（概算）

(1) 前年度繰越金（2006年度決算終了時の繰越金額を記載）：¥1,480,165

(2) 参加費（参加者が300名の場合）：¥4,000 × 300 = ¥1,200,000

(3) 外部団体への援助・協賛申請（前年度と同様、内訳は下表）：¥1,050,000

団体名	内容	今年度申請額
素粒子論グループ	旅費補助	450,000
基研	講師等旅費 <sup>*1</sup> 、ポスター印刷費 <sup>*2</sup>	500,000
RCNP	協賛	0
原子核談話会	協賛	0
高エネルギー研究者会議	協賛	0
申請額合計		950,000

\*1 基研からの援助については1.3参照。

\*2 ポスター印刷費は、実際にかかった費用のみが支払われる。

収入合計：(1) + (2) + (3) = ¥3,730,165

### 2.2 支出予定

各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載。

役職名	今年度予算案	前年度決算額 <sup>*1</sup>
三者センター校	3,000	4,091
三者事務局 <sup>*2</sup>	0	0
三者準備校	350,000	187,946
三者名簿校	0	0
素粒子論パート事務局	0	0
素粒子論パート準備校	23,000	1,800
原子核パートセンター校	0	0
原子核パート準備校	7,000	451
高エネルギーパート準備校	5,000	0
計	388,200	194,288

\*1 前年度決算は2005年度三者センター校の決算報告に基づいている。

\*2 三者 HP・ML校は三者事務局に吸収。

(注.) 他に『学生旅費補助』、『次年度繰越金』、『ポスター印刷費(上限10万円)』、『講師旅費』などがある。

### 2.2.1 各三者役職校の支出予定項目

- 三者センター校 (北海道大学)

申請項目	申請額
振込手数料	3,000
申請額合計	3,000

- 三者事務局 (金沢大学)

申請項目	申請額
コピー代	0*
申請額合計	0

\* 研究室のコピー機を使えるため.

- 三者準備校 (新潟大学)

申請項目	申請額
下見・交通費	10,000
施設使用料金	150,000
コピー代	60,000
文具代	30,000
通信費	30,000
郵送費	40,000
払出し手数料	30,000
申請額合計	350,000

- 三者名簿校 (筑波大学, 未申請)

申請項目	申請額
なし*	0
申請額合計	0

\* 名簿は印刷、配布の必要がないため.

### 2.2.2 各パート役職校の支出予定項目

パート名	今年度予算(案)	前年度決算額*
素粒子	23,000	1,800
原子核	7,000	450
高エネルギー	5,000	0
パート予算合計	35,000	2,250

\* 前年度決算は 2005 年度三者センター校の決算報告に基づいている .

- 素粒子論パート

- － 素粒子論パート事務局 (大阪大学)

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

－ 素粒子論パート準備校 (東京工業大学)

申請項目	申請額
録音関係費	13,000
機材送料	6,000
消耗品代	2,000
研究会費	2,000
申請額合計	23,000

● 原子核パート

－ 原子核パートセンター校 (大阪大学)

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

－ 原子核パート準備校 (東京大学)

申請項目	申請額
輸送代	1,000
文房具代	6,000
申請額合計	7,000

● 高エネルギーパート

－ 高エネルギーパート準備校 (筑波大学)

申請項目	申請額
郵送代、文房具代	5,000
申請額合計	5,000

### 2.2.3 ワーキンググループの支出予定項目

● セクハラワーキンググループ

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

## 2.3 講師旅費 (基研からの援助金) の使い方について

例年、三者若手夏の学校は基研から講師旅費として50万円(ポスター印刷費を含む)を上限とする援助を受けています。この予算は現金化\*の廃止に伴い、2006年度は講師の方に加えて研究会でトークをする学生トーカーの内希望者に対する旅費の補助という形で使用されました。今後、予算の用途に関してはセンター校に一任されることが2006年度夏の学校の三者総会において決定されています。現在のところ2007年度センター校としては、講師旅費は2006年度と同様に講師と学生トーカーに対する旅費補助として使用する方針です。この際、次年度以降も同じ額の援助申請を行うためには実際の補助額が50万を大きく下回することは避けなければならないという問題があります。逆に、補助の申請者が多かった場合には補助の総額が上限の50万を越えるということも考えられます(基研の旅費規定で一人当たりの支給額の下限が定められているため)。この場合旅費の補助は他の予算から賄うことになり、結果として参加者に対する遠隔地補助が減額されることになってしまいます。基研からの援助金はあくまで旅費としてのみ使用可能ということですので、以上のような問題点(昨年と同じですが)に留意しつつ50万円という援助額を出来るだけ過不足なく使えるよう調整していくつもりです。

意見、提案等あればお願いします。

★現金化については過去の議事録参照。